



2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月12日
東

上場会社名 株式会社エスユーエス 上場取引所
 コード番号 6554 URL <https://www.sus-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 公男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 浅田 剛史 (TEL) 075-229-7400
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	6,981	2.7	118	△61.1	484	58.7	293	66.6
2020年9月期第3四半期	6,797	14.2	305	△15.9	305	△17.6	176	△16.9

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 269百万円(60.9%) 2020年9月期第3四半期 167百万円(△21.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	33.31	31.83
2020年9月期第3四半期	20.08	19.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	4,404	2,681	59.5
2020年9月期	3,978	2,472	60.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 2,622百万円 2020年9月期 2,389百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2021年9月期	—	0.00	—		
2021年9月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,350	4.3	120	△42.3	570	38.8	350	29.6	39.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年9月期3Q	8,814,000株	2020年9月期	8,784,400株
2021年9月期3Q	184株	2020年9月期	184株
2021年9月期3Q	8,810,260株	2020年9月期3Q	8,768,992株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に対する各種政策効果により、企業活動や経済活動に持ち直しの動きが見られましたが、国内外の感染者数が再度増加傾向にあるなど、依然として先行きは極めて不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは全セグメントで増収となった一方で、技術者派遣事業において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、稼働率が低下しました。販売費及び一般管理費は採用広告費等を中心に抑制いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,981,625千円（対前年同期比2.7%増）、営業利益118,946千円（対前年同期比61.1%減）、経常利益は雇用調整助成金の受給に伴い営業外収益が増加し484,991千円（対前年同期比58.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益293,465千円（対前年同期比66.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① 技術者派遣事業

技術者派遣は、IT分野及び成長産業分野への取り組み強化により、派遣単価の向上にも努めてまいりました。一方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2021年4月入社の新卒技術社員及び既存技術社員の一部に契約獲得の遅れが生じており、稼働率は前年同期より低い水準で推移したため、減収となりました。稼働率につきましては、期初からは回復傾向にあります。

請負業務は、製造請負、IT請負ともに受注件数が増加し、取引が拡大しました。

これらの結果、技術者派遣事業の売上高は6,422,805千円（対前年同期比0.6%増）、セグメント利益は250,156千円（対前年同期比30.7%減）となりました。

② コンサルティング事業

システムコンサルティングサービス市場は、SAPをはじめとした既存の大規模基幹システムにおいてIT基盤の統合・再構築が企業の重要課題とされ、機能拡張やグローバル展開案件が継続して堅調に推移しました。このような中、当社が携わるクラウド系基幹システムであるSAP S/4 HANAの受注が拡大傾向となりました。こうした案件状況に対して、自社ITコンサルタントの育成及び増員に加えて協力会社の外注要員を活用し、チーム体制での対応を推進いたしました。

これらの結果、コンサルティング事業の売上高は441,213千円（対前年同期比20.1%増）、セグメント利益は49,300千円（対前年同期比87.1%増）となりました。

③ AR/VR事業

AR/VR事業は、AR（拡張現実）、VR（仮想現実）と言われる第4次産業革命に対応する取り組みとして、AR/VRクリエイターの育成、企業や教育機関が求めるAR/VRコンテンツやプラットフォームの販売及び開発等を目的に事業を行っており、VR動画の制作を中心に受注を獲得しました。また、株式会社クロスリアリティ（連結子会社）において、2020年10月にVRIA京都（VRイノベーションアカデミー京都）が開校しました。一方で、AR/VRコンテンツの受注を獲得するべく、人件費及び設備投資費用が発生しました。

これらの結果、AR/VR事業の売上高は36,450千円（前年同期は実績無）、セグメント損失は172,382千円（前年同期は27,769千円の損失）となりました。

④ その他

HAIQ事業は、主力商品であるAIマッチングソリューション「SUZAKU」において、契約更新及び新規受注を獲得しました。

障害者の雇用の促進等に関する法律に基づく特例子会社である株式会社ストーンフリーの売上高は、就労移行支援事業の利用者が増加したこと等により、前年同期比で増加しました。

AI関連の取り組みを目的とするSUS Labは、受注を獲得した一方で、先行した開発費用が発生しました。

これらの結果、売上高は81,155千円（対前年同期比75.6%増）、セグメント損失は8,128千円（前年同期は54,373千円の損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は4,404,947千円となり、前連結会計年度末より426,760千円の増加となりました。流動資産合計は3,641,617千円となり、前連結会計年度末より414,829千円の増加となりました。これは未収入金を含むその他流動資産が104,928千円減少した一方、現金及び預金が460,051千円増加、売掛金が57,677千円増加したことによるものであります。固定資産合計は763,329千円となり、前連結会計年度末より11,931千円の増加となりました。これは主に有形固定資産が53,559千円減少した一方、繰延税金資産を含む投資その他の資産が57,568千円増加したことによるものであります。

② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,723,832千円となり、前連結会計年度末より217,772千円の増加となりました。流動負債合計は1,681,738千円となり、前連結会計年度末より233,813千円の増加となりました。これは主に賞与引当金が261,141千円減少、未払消費税等を含むその他流動負債が143,296千円減少した一方、未払費用が568,661千円増加したことによるものであります。固定負債合計は42,093千円となり、前連結会計年度末より16,040千円の減少となりました。これは主にリース債務が13,138千円減少したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,681,114千円となり、前連結会計年度末より208,988千円の増加となりました。これは主に配当実施の一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が231,976千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想につきましては、2020年11月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2021年8月12日）に公表いたしました「2021年9月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,932,485	2,392,537
売掛金	1,068,500	1,126,178
仕掛品	8,387	10,417
その他	217,447	112,519
貸倒引当金	△34	△35
流動資産合計	3,226,787	3,641,617
固定資産		
有形固定資産	249,512	195,952
無形固定資産	136,603	144,525
投資その他の資産		
その他	365,282	423,806
貸倒引当金	—	△955
投資その他の資産合計	365,282	422,851
固定資産合計	751,398	763,329
資産合計	3,978,186	4,404,947
負債の部		
流動負債		
未払金	607,662	594,829
未払法人税等	132,729	215,151
未払費用	94,565	663,226
賞与引当金	261,141	—
その他	351,826	208,529
流動負債合計	1,447,925	1,681,738
固定負債		
リース債務	26,235	13,096
資産除去債務	23,381	23,420
その他	8,517	5,576
固定負債合計	58,134	42,093
負債合計	1,506,059	1,723,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	430,433	431,099
資本剰余金	526,078	526,744
利益剰余金	1,433,146	1,665,122
自己株式	△184	△184
株主資本合計	2,389,473	2,622,782
非支配株主持分	82,652	58,332
純資産合計	2,472,126	2,681,114
負債純資産合計	3,978,186	4,404,947

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	6,797,192	6,981,625
売上原価	5,076,504	5,506,256
売上総利益	1,720,687	1,475,369
販売費及び一般管理費	1,415,297	1,356,423
営業利益	305,389	118,946
営業外収益		
受取利息	29	16
受取配当金	2	1
助成金収入	2,430	374,458
その他	2,109	11,054
営業外収益合計	4,571	385,531
営業外費用		
支払利息	2,550	5,311
支払手数料	1,710	14,116
その他	1	57
営業外費用合計	4,262	19,485
経常利益	305,698	484,991
特別損失		
固定資産除却損	—	209
特別損失合計	—	209
税金等調整前四半期純利益	305,698	484,781
法人税、住民税及び事業税	229,916	298,926
法人税等調整額	△91,519	△83,290
法人税等合計	138,396	215,636
四半期純利益	167,301	269,145
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,816	△24,320
親会社株主に帰属する四半期純利益	176,117	293,465

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	167,301	269,145
四半期包括利益	167,301	269,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	176,117	293,465
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,816	△24,320

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	技術者派遣 事業	コンサル ティング 事業	AR/VR事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,383,707	367,260	—	6,750,968	46,223	6,797,192
計	6,383,707	367,260	—	6,750,968	46,223	6,797,192
セグメント利益又は損失(△)	361,189	26,343	△27,769	359,763	△54,373	305,389

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	技術者派遣 事業	コンサル ティング 事業	AR/VR事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,422,805	441,213	36,450	6,900,469	81,155	6,981,625
計	6,422,805	441,213	36,450	6,900,469	81,155	6,981,625
セグメント利益又は損失(△)	250,156	49,300	△172,382	127,075	△8,128	118,946

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「AR/VR事業」について量的重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。